



2017年度

泊園古典講座

— 後期開講 —

文政8年（1825）、大阪に関西大学の源流の一つとなる漢学塾、泊園（はくえん）書院が生まれました。泊園書院はその後、大阪を代表する学問所として幕末から明治・大正・昭和の激動期をくぐり抜け、多くの人材を育みました。

そのすぐれた伝統を現代に活かすため、関西大学泊園記念会と梅田キャンパスは「泊園古典講座シリーズ」を開講しています。さまざまな作品を実際に声に出して「読む」ことを通してわかりやすく読み解き、市民の皆様にも古典の魅力を知っていただきたいと考えています。

2017年後期コースとして「中国の古典を読む」「漢詩を読む」の2コースを設けました。ぜひご参加ください。

対象

テーマの文献に興味がある広く一般の方々が対象です。大学院レベルの高度なものではないので、漢文が読めなくても「興味がある」程度の方でも受講可能です。

受講料

各コース単位（全6回） 8,000円
（泊園記念会員特別割引 7,000円）

※割引適用には入会手続きが必要です。詳しくは関西大学研究所事務グループ（TEL：06-6368-0653）までお問い合わせください。

受講当日キャンパス内指定場所（当日1Fにて掲示）でのお支払いとなります。このため初回受講時には少しお早めにご来場いただきますようお願いいたします。

■ 中国の古典を読む

10月28日（土）より全6回

■ 漢詩を読む

11月4日（土）より全6回

中国の古典を読む

土曜日開講 全回 14:00-15:30

10/28	『孫子』を読む	兵法のバイブル『孫子』の原文を読み、その思想や影響をお話しします。	橋本昭典 (奈良教育大学教授)
11/4	『韓非子』を読む	秦の始皇帝が傾倒した『韓非子』。その人間支配の術を読み解きます。	
11/18	『老子』を読む1	無為自然の思想を説いた『老子』。その謎の人物と伝説に迫ります。	松井真希子 (奈良高専講師)
12/2	『老子』を読む2	『老子』の原文をわかりやすく解説し、独自の人生哲学に触れてみます。	
12/16	『論語』を読む	東洋の倫理思想に大きな影響を与えた『論語』。その原文を読んでみます。	吾妻重二 (関西大学教授)
1/6	『孟子』を読む	性善説や革命説で知られる『孟子』を読み、その弁論の魅力を学びます。	

※過去に実施した内容とは異なります。

漢詩を読む

土曜日開講 全回 16:00-17:30

11/4	秋の詩を読む1	孟浩然・白居易などの、秋と冬を詠った詩を取りあげ、漢詩に描かれた季節感について、みなさんと考えます。
11/18	秋の詩を読む2	
12/2	冬の詩を読む1	そのあと、中国の歴史を詠んだ詩を取りあげ、英雄たちの興亡・血湧き肉躍る歴史ドラマをみなさんと追体験します。
12/16	冬の詩を読む2	
1/6	詠史・懐古の詩を読む1	今回の講座では、受講生のみなさんに実際に漢詩を解釈していただきますので、みなさんと漢詩の魅力について語り合う講座にしたいと思います。
1/20	詠史・懐古の詩を読む2	

長谷部剛 (関西大学教授)

お申込みはWebサイトでキーワード検索、Webフォームからお申込みください。
(<http://www.kansai-u.ac.jp/umeda/event-seminar>)

関大梅田 講座

検索

※受講料は、開講日初日のお支払いになります。

お支払い場所は当日キャンパス1Fにて掲示いたしますので、ご確認の上お支払いください。

開催
場所

関西大学梅田キャンパス
"KANDAI Me RISE"

〒530-0014 大阪市北区鶴野町1-5

お問い合わせ先：梅田キャンパスオフィス

平日：10:00～18:00 TEL:06-4256-6410

※1FのTSUTAYA/STARBUCKSを目印にお越しください

